

平成29年度下水道局資金運用管理実績(年間)について

平成29年度の年間の資金運用管理実績を取りまとめましたので、お知らせします。

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	29年度 (A)	28年度 (B)	対前年度比 (A-B)
平均残高	542億円	555億円	461億円	518億円	519億円	579億円	△ 60億円
最高残高	993億円	794億円	671億円	752億円	-	-	-
最低残高	259億円	420億円	270億円	315億円	-	-	-
利回り	0.002%	0.002%	0.002%	0.002%	0.002%	0.004%	△ 0.002%
運用収入	26万円	33万円	27万円	29万円	115万円	253万円	△ 138万円

- 工事費等の支出の増加により、平均残高は前年度より減少しました。また、定期性預金金利の低下により、利回りは低下しました。その結果、運用収入は前年度の253万円から減少し、115万円となりました。
- 平均残高は519億円でしたが、期中の残高は企業債等の収入や元利償還金等の支出により大幅に増加、減少することがありました。
- このような当局特有の資金状況を踏まえた資金収支の見通しを基に、日々の支払に備える支払準備資金を普通預金で確保したうえで、運用可能な資金については、短期間の定期性預金による運用を行いました。

運用商品別内訳

	期中平均残高		残高推移				運用収入 及び 利回り
	29年度 億円	構成比 %	H29.3.31 残高 億円	H30.3.31 残高 億円	増減		
					増減額 億円	増減率 %	
預金	519	100.0%	561	636	75	13.4%	運用収入計 115万円 利回り 0.002%
定期性預金	306	59.0%	200	100	△ 100	△ 50.0%	
普通預金	213	41.0%	361	536	175	48.5%	
計	519	100.0%	561	636	75	13.4%	

注1 「運用収入」は、発生主義による額を掲載しており、実際に収入した額とは異なる。

注2 「利回り」は、年利換算した計数を表示。

注3 計数については、表示単位未満を四捨五入し端数整理をしていないため、合計等と一致しない場合がある。